

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024年 05月 20日

静岡県知事殿

提出者

住所 静岡県三島市谷田雪沢173-2

氏名 中林建設株式会社 静岡事業所

佐野竜司

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 055 - 975 - 4397

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	中林建設株式会社 静岡事業所		
事業場の所在地	静岡県	三島市	谷田雪沢173-2
計画期間	2024/4/1 ~ 2025/3/31		

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業		
② 事業の規模	元請完成工事高 8.0億円		
③ 従業員数	32名		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラスチック コンクリート殻 アスファルト殻 汚泥 木くず 混合廃棄物 がれき類	工事現場 工事現場 工事現場 工事現場 工事現場 工事現場 工事現場	→ 委託処分 → 委託処分 → 委託処分 → 委託処分 → 委託処分 → 委託処分 → 委託処分

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本 社	統括責任者 横森 久士
処理計画担当部署 静岡事業所	責任者 西島大治郎
工 事 部	責任者 西島大治郎
工 事 現 場	責任者 西島大治郎

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	廃プラスチック類	10.500 t
	コンクリート破片	125.260 t
	アスファルト・コンクリート破片	5,544.280 t
	建設汚泥（残土を除く）	9.190 t
	木くず	36.630 t
	<small>がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）</small>	2.220 t
	建設混合廃棄物	11.024 t
	有機性汚泥	0.140 t
	（これまでに実施した取組） 工事で発生した産業廃棄物は再資源化の観点から、原則的にすべて処分場に搬出する。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	廃プラスチック類	15.000 t
	コンクリート破片	500.000 t
	アスファルト・コンクリート破片	5,000.000 t
	建設汚泥（残土を除く）	10.000 t
	木くず	100.000 t

②計画		建設混合廃棄物	15.000 t
			0.000 t
			0.000 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>工事で発生した産業廃棄物は再資源化の観点から、原則的にすべて処分場に搬出する。基本的に現状を維持し工事現場のゴミ類は分別し産業廃棄ボックスに排出する。</p>		
産業廃棄物の分別に関する事項			
	①現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>各廃棄物ごとに分別して排出処理し、マニフェストに廃棄物の種類を確実に明示する。</p>	
	②計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>現状維持で行う。</p>	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
(今後実施する予定の取組)			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量

①現状		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		(今後実施する予定の取組)	

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 5年度）実績】

産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				全処理委託量 (t)
	① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	
廃プラスチック類	10.500	0.000	0.000	0.000	10.500
コンクリート破片	61.480	63.780	0.000	0.000	125.260
アスファルト・コンクリート破片	1,935.780	3,608.500	0.000	0.000	5,544.280
建設汚泥（残土を除く）	2.730	6.460	0.000	0.000	9.190
木くず	13.200	23.430	0.000	0.000	36.630
がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）	2.220	0.000	0.000	0.000	2.220
建設混合廃棄物	10.920	0.104	0.000	0.000	11.024
有機性汚泥	0.140	0.000	0.000	0.000	0.140
<p>（これまでに実施した取組）</p> <p>公共工事においては、各工事ごとに事前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を提出し、完工時にその実施書を提出している。</p>					

①現状

		【目標】					
		産業廃棄物の種類	① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
②計画			①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
		廃プラスチック類	14.000	1.000	0.000	0.000	15.000
		コンクリート破片	10.000	490.000	0.000	0.000	500.000
		アスファルト・コンクリート破片	300.000	4,700.000	0.000	0.000	5,000.000
		建設汚泥（残土を除く）	10.000	0.000	0.000	0.000	10.000
		木くず	10.000	90.000	0.000	0.000	100.000
		建設混合廃棄物	15.000	0.000	0.000	0.000	15.000
			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		(今後実施する予定の取組) 前年同様の取組で行う予定です。					
※事務処理欄							

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。